

2021年度活動概要

応用認知言語学研究会

「応用認知言語学研究会」は、2013 年度より九州・沖縄支部に発足した研究会です。本研究会は、言語学の分野で近年成果が著しい「認知言語学」の知見を、言語教育、特に英語教育の現場へどう生かすかを探るという観点から活動しています。

2021 年度も昨年度同様、新型コロナ（COVID-19）蔓延のため対面での交流を行うことはできませんでしたが、年度末の3月15日（火）に第12回研究会をZoomによるオンライン開催の形で実施しました。研究会では、「RSC (Repetitive Self-Correction) and Linguistic Frames」「英語の時制をどのように指導するか：認知言語学の観点から」「日本語の助詞：「から」と「に」」という3つの発表が行われました。どこからでも参加できるというZoomの良さもあり、全国から30名を超える方々に参加いただき、盛会のうちに終わることができました。

また、2022年3月発行(予定)の『大学英語教育学会(JACET)創立60周年記念誌』にて本研究会の活動紹介をおこないました。

最後になりますが、本研究会の研究テーマである認知言語学の知見を教育現場に生かす活動の一環として、これまでも教員免許状更新講習において会員による講習をおこない、認知言語学の観点からの英語教育の普及に努めてきましたが、今年度は本研究会のメンバーの長加奈子（福岡大学）が認知言語学の観点からの講習をおこない、参加者からは現場に生かしやすい内容であったとの評価を得ています。